

ここが聞きたい！
いっぱん

質問

若月忠男 議員

遺跡出土品展示施設の考えは

町長 奥出雲の古代をわかりやすく
紹介する施設も検討して行きます



問 貴重な出土品を一カ所に展示する場所、あるいは施設の設置についての考えは。

答 出土品は文化財収蔵庫等で保存管理しております。また、保存価値が高く展示紹介に値するものは、奥出雲多根自然博物館の3階に、展示専用スペースとして奥出雲町文化財展示室を設けております。

少し時間をかけて、風土記の里、神話の里の奥出雲。

現に今も我々の目で見ることが出来る風景もあ

り、神話、風土記と、今の奥出雲が十分理解してもらえる、古代からの故郷であるということ、認識してもらえような施設について、いろんな意見をお聞きしながら、今後の課題として検討すべきだと思っています。

問 展示出来ない出土品については、そのレプリカ等の制作についての考えは。

答 できるだけ、レプリカ作成も含めて保存修理等、可能なところから本物を鑑賞してもらえような工夫も考えてまいります。

問 各古墳、遺跡等に行く為の道しるべ及び、その説明表示板の設置についての考えは。

答 本年度中に指定文化財、出雲国風土記登録地の表示を設置することになっております。

奥出雲町内の風土記関連の案内サインは今、準備しております。

本町でいろいろ伝えられております神話登場の

地には、説明看板を設置する予定にしておりますが、来訪者に分かりにくい場所もいろいろありますので、誘導標識等を設置することも今準備しております。

再問 今後、是非発掘したい史跡、古墳の考えは。

答 今、考えられるのは郡自治会の郡家跡、また特定が出来ておりませんのである程度はつきりすれば、調査が必要とおもっております。

問 給水タンク車の導入についての考えは。

答 自動給排水等を兼ね備えた最新鋭の給水タンク車の導入については、必要ですので今後、地域防災計画あるいは水道の改修計画も見据えながら、早期導入が図られるように検討し、できるだけ早期の導入について検討してまいります。

再問 給水タンク車の導入の時期は。

答 平成24年度事業で導入が可能かどうか、十分検討して可能性があれば、

24年度事業として取り組みたいと思います。

問 平成24年産米の生産目標対策の考えは。

答 仁多米は島根米の中でも最も評価が高いわけですので、島根県並びに奥出雲町にとりましてその生産量を確保することは、非常に重要な事であると認識しております。県からは国からの配分数量提示の前に、仮配分によって作付希望数量を取りまとめ、早期の地域間調整を実施したい旨の回答を得ておりますので、他地域からの作付数量の譲渡の申し出があればこれを受け、できるだけ仁多米の生産数量を確保できるよう、最善の努力をしてまいります。

再問 平成24年産米の作付面積確保は。

答 最低でも昨年の面積は確保できるよう、全力を挙げて取り組みたいと思います。